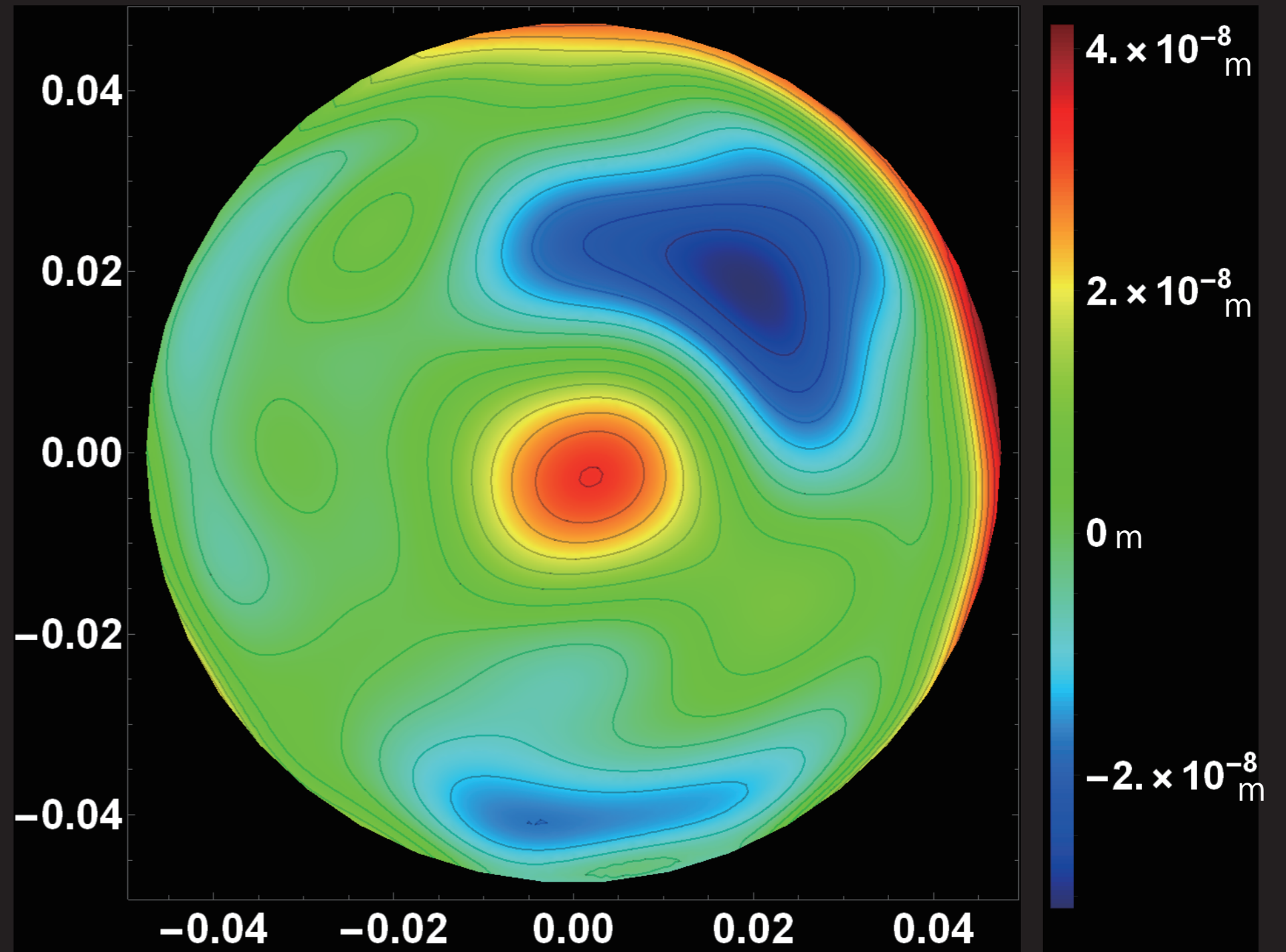


望遠鏡名称	FC-76 (No,5033)
口径	76mm
F 値	7.9
測定日	2017/02/13
測定者	Hyperbola Optics
測定波長	$\lambda = 632.8\text{nm}$
測定視野	視野中心
波面エラー (P.V.)	$0.16 \lambda$
波面エラー (R.M.S.)	$0.019 \lambda$
ストレーラ比	0.99

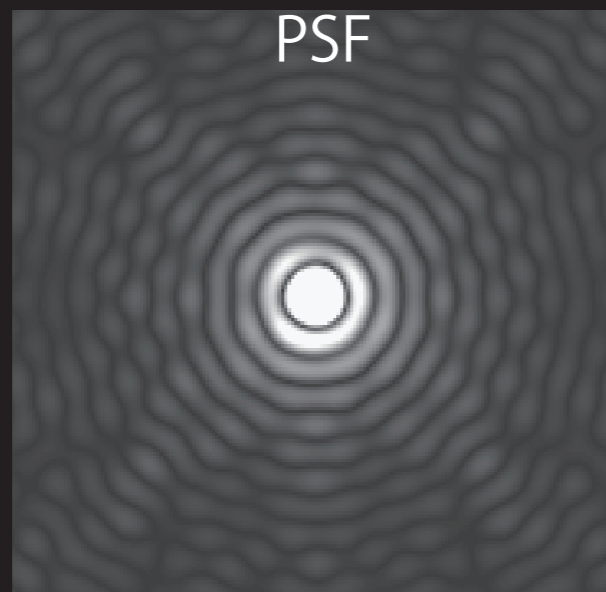
Zernike $Z_2^{-2}$	$-0.0018 \lambda$
Zernike $Z_2^2$	$0.0025 \lambda$
Zernike $Z_3^{-1}$	$0.0080 \lambda$
Zernike $Z_3^1$	$0.0054 \lambda$
Zernike $Z_4^0$	$0.011 \lambda$
非点収差	$0.0021 \lambda$
3 次のコマ収差	$0.0068 \lambda$
3 次の球面収差	$0.011 \lambda$

※Zernike 係数及び各収差量は R.M.S での値

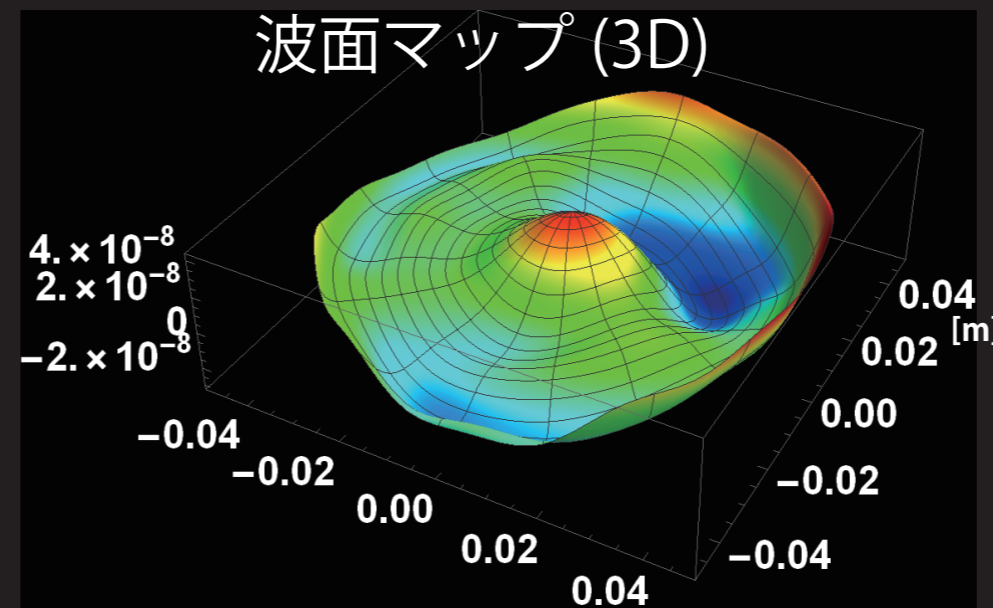
波面マップ (2D)



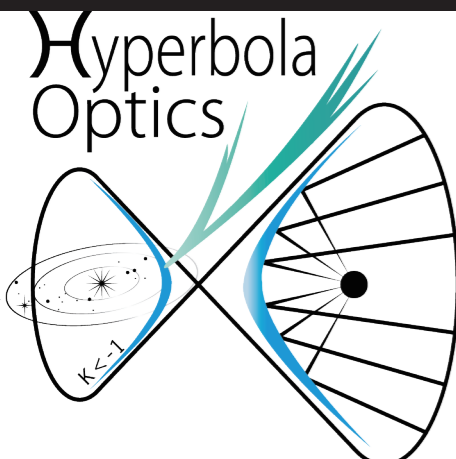
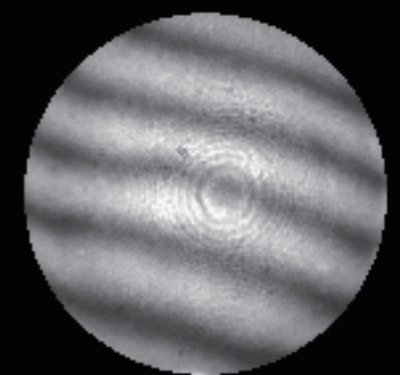
PSF



波面マップ (3D)



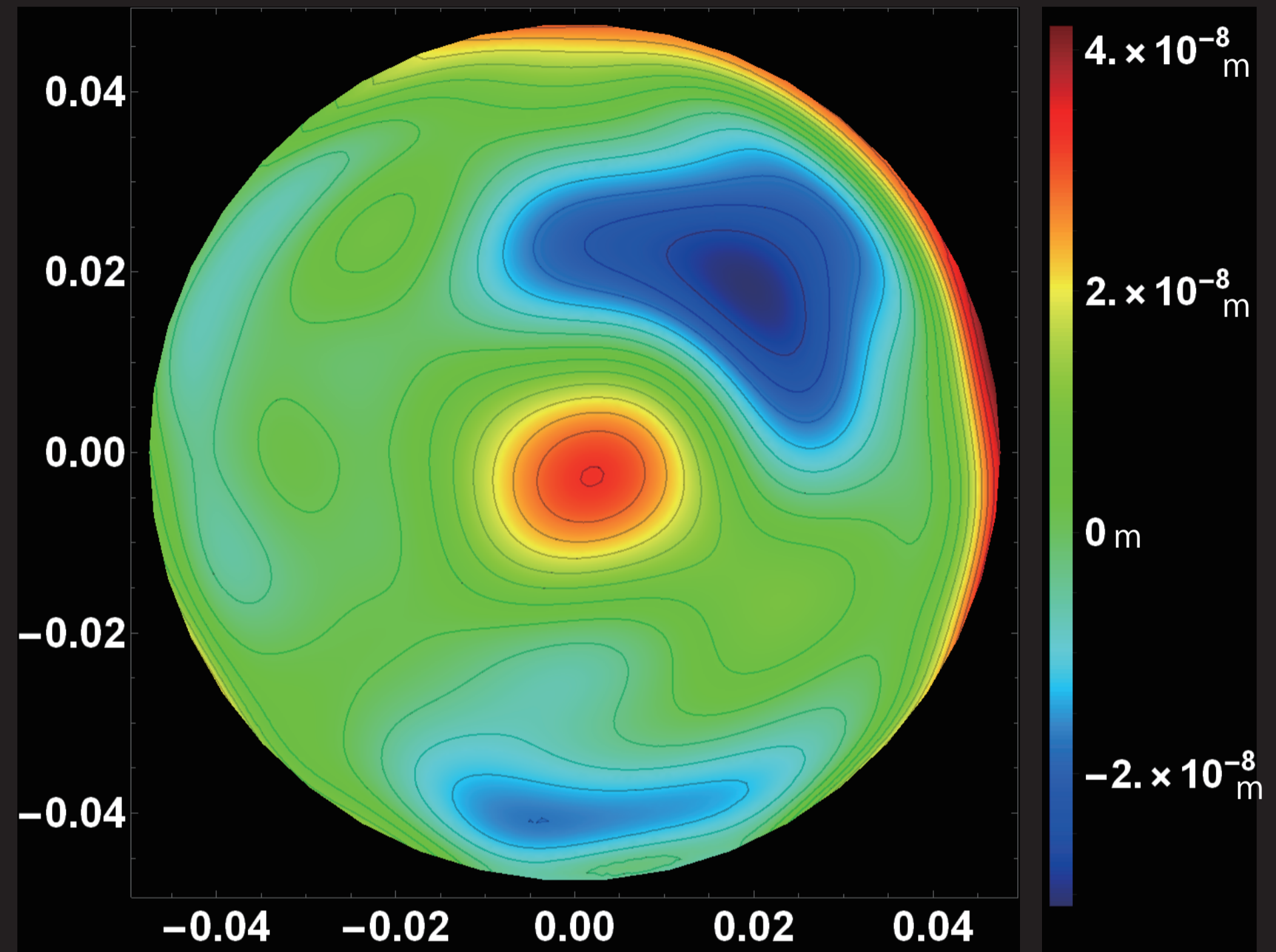
フリッジマップ



波面の形状を等高線と色で表したもの



波面マップ (2D)



FC-76 (No. 5033) 測定結果 2018/02/11

望遠鏡名称	FC-76 (No,5033)
口径	76mm
F 値	7.9
測定日	2017/02/13
測定者	Hyperbola Optics
測定波長	$\lambda = 632.8\text{nm}$
測定視野	視野中心
波面エラー (P.V.)	$0.16 \lambda$
波面エラー (R.M.S.)	$0.019 \lambda$
ストレール比	0.99
Zernike $Z_2^{-2}$	$-0.0018 \lambda$
Zernike $Z_2^2$	$0.0025 \lambda$
Zernike $Z_3^{-1}$	$0.0080 \lambda$
Zernike $Z_3^1$	$0.0054 \lambda$
Zernike $Z_4^0$	$0.011 \lambda$
非点収差	$0.0021 \lambda$
3 次のコマ収差	$0.0068 \lambda$
3 次の球面収差	$0.011 \lambda$

波面測定に用いたレーザーの波長

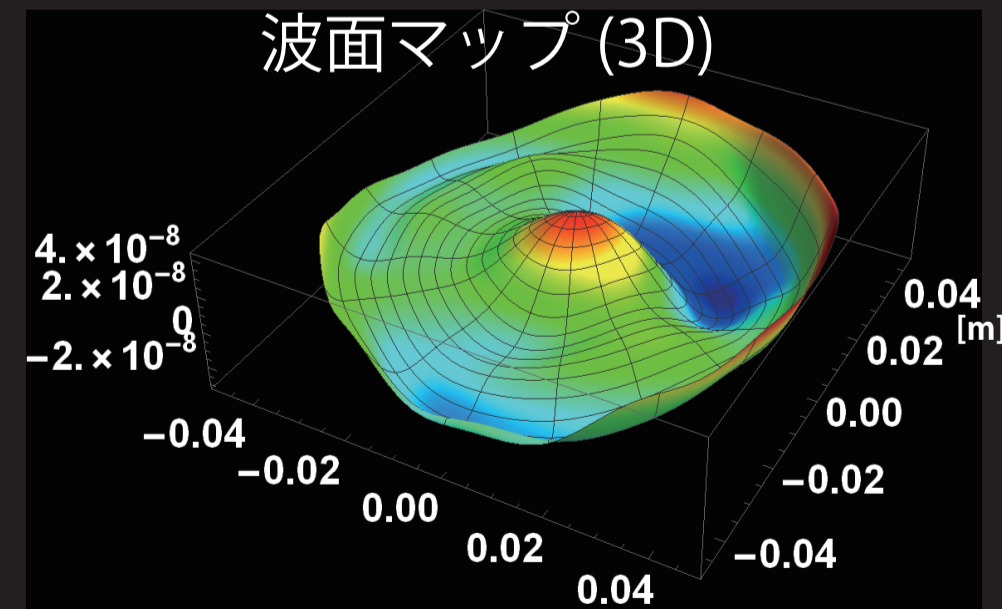
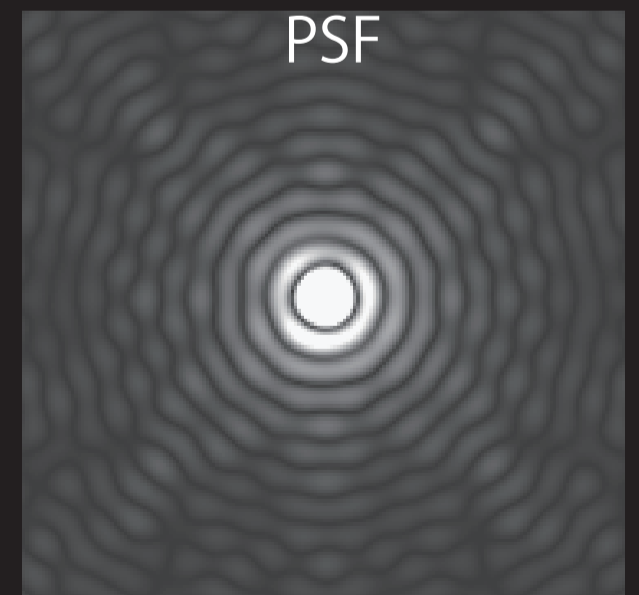
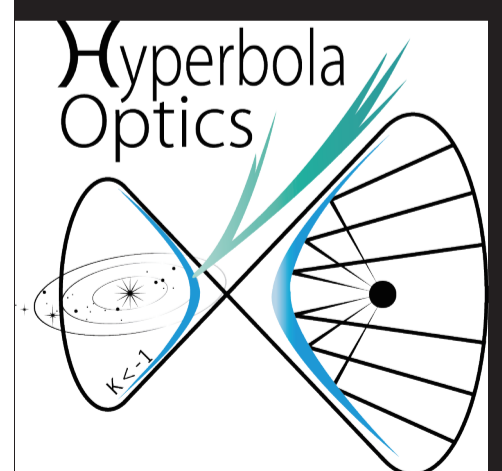
P.V. は Peak-to-Valley を意味し、  
波面誤差の最大値と最小値の差を表す。

R.M.S. は root mean square (二乗平均平方根) を意味し、  
口径全体に渡る波面誤差の大きさを表す指標である。

口径が同じで波面誤差のない理想的な望遠鏡の星像中心の輝度に対する  
当該望遠鏡が作る星像中心の輝度の比率。  
波面誤差が少ないほど値が 1 に近くなる。

各種収差の量

※Zernike 係数及び各収差量は R.M.S での値



PSF は point spread function (点像分布関数) を意味し、  
シーイングの影響のない理想的な環境下での  
星像シミュレーションである。

波面の形状を 3 次的に表したもの

zygo 干渉計で得られた干渉縞 (フリッジ) の様子。  
この干渉縞から波面誤差が求まる。